

# 沖縄総合事務局における取組について

---

内閣府 沖縄総合事務局 運輸部・開発建設部

第9回移動等円滑化評価会議で示された「当事者目線に立ったバリアフリー環境の課題等に関する中間的な整理案」に基づき、関係団体及び沖縄都市モノレール(株)の協力の下、当事者が抱えている困りごとやニーズ等を把握すべく、**現場調査**を令和5年9月4日に実施。

また、当該調査に併せ、沖縄都市モノレール(株)における「儀保駅」、「市立病院前駅」への巡回方式の追加導入検討について、関係団体からの要望を踏まえた同社の対応や今後の検討事項について、**意見交換会**を実施。

## 【実施概要】

### ● 参加者

社会福祉法人沖縄県視覚障害者福祉協会 知花会長（分科会委員）  
社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会 仲本事務局長  
NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会 仲根理事（分科会委員）  
沖縄都市モノレール株式会社

【現場調査の様子】



### ● 現場調査（牧志駅、市立病院前駅、移動車内）

#### 【乗車位置の識別方法・わかりやすい表示】

- ・ホームドアの点字表示、視覚障害者誘導用ブロック
- ・3両化に伴い変更した表示・アナウンス
- ・乗車位置表示（床面のサイン、シンボルマーク等）

#### 【経路上の障害物・インターホンの状況】

- ・ホームや移動経路における障害物（往路・復路）
- ・インターホン等へのアクセシビリティ

#### 【車両内での環境調査（車両内からの駅名表示）】

- ・車両内における表示案内装置（車内液晶表示装置）
- ・音声案内（行先・開閉位置案内）

### ● 意見交換会

- ・現場調査を踏まえ、改善点や評価できる点を議論
- ・巡回方式について、下記整理課題について実際に「市立病院前駅」を視察した上で、意見交換を実施。

#### 【巡回方式に係る整理課題】

- 書面台・インターホン
  - ・手が届かない、設置位置がわからないため 通話ボタンが押せない
  - ・書面台及びインターホンの設置位置がわからず 押せない
  - ・筆談ができない（字が書けない）
- 券売機
  - ・タッチパネルが押せない
  - ・乗車券の買い方がわからない
- 窓口
  - ・ICカードの再発行及び期限更新ができない
  - ・窓口インターホンが両側になく不便
- ホーム
  - ・ホームと車両の隙間・段差が大きい

#### 【要望を受けた対応状況（インターホン増設）】

**駅係員不在時のご案内**  
■ 駅係員が不在時は、以下のインターホンにてお話しください。  
※インターホンは、駅窓口前に設置しています。



## 【委員等からの主な意見】

### （情報提供関係）

- ・テレビ・ラジオなど様々な媒体で運休情報等を入手できることは評価できる一方、視覚障害者の立場からみるとHP上に掲載される一部の情報については、PDF化されているため読上げソフトが対応できない。**テキストデータ化した情報を掲載していただきたい。**

### （移動経路等関係）

- ・視覚障害者の乗車位置（点状ブロック位置）と車両出入口が交差するため、視覚障害者の乗降は危険が伴う。
- ・車両内の車いすスペースに**シンボルマークによる啓発と多言語による注意案内を掲示していただきたい。**（どいてもらうのは難しい）
- ・車両内の案内表示や音声案内は充実していると思われるが、分かりやすさの視点からするとどちらのドアが開くかの表示があるとよいのではないかと。

### （その他ご意見）

- ・想像していたより駅構内及び車両のバリアフリー設備は充実していた印象。**全駅にホームドア設置が設置されていることはとても評価できる。**
- ・ホームの隙間段差は改善が見られる一方、**一部の駅では隙間段差がある。電動車いすの車輪は横向きになるとわずかな隙間でもハマってしまう。** 駅員から介助の申し出について声掛けをされるが、段差の程度がわからず依頼するか判断に迷うことがある。**「何センチ段差がありますが」とつけ加えていただくとありがたい。**
- ・券売機の硬貨投入口の受け皿が浅く、手が不自由な方では硬貨を投入することが難しい。
- ・巡回方式による一時的な無人化対策として**シルバー人材や就労継続支援A型事業所の活用を検討してはいかがか。人がいることが何よりも安心である。**

・ 沖縄総合事務局では、高齢者、視覚障がい者、身体障がい者の疑似体験や介助体験などを通じてバリアフリーについての理解を深めてもらうとともに、ボランティアに関する意識を醸成し、誰もが高齢者、視覚障がい者等に対し「お手伝いしましょう」とごく自然に声をかけてサポートできる「心のバリアフリー」を目指し、平成13年度以降、地域住民や公共交通機関で働く人々を対象にバリアフリー教室を開催。



車いす体験



バリアフリー体験



円滑移動検証



座学

## 【体験の種類】

年度	対象者	体験場所	体験種類
H25	多良間村立多良間小学校3・4年生	フェリーたらまゆう	視覚・肢体・高齢者
H25	那覇市立石嶺小学校4年生	沖縄県福祉センター	視覚・肢体・高齢者
H26	なはモビリティウィークイベント参加者	国際通り松尾バス停	視覚・肢体・高齢者
H26	なはモビリティウィークイベント参加者	さいおんスクエア	視覚・肢体・高齢者
H27	宮古島市内の小学生4～6年生等	カママ嶺公園	視覚・肢体・高齢者
H27	なはモビリティウィークイベント参加者	てんぶす館	視覚・肢体・高齢者
H28	なはモビリティウィークイベント参加者	てんぶす館	視覚・肢体・高齢者
H29	商業施設関係者、宮古総合実業高等学校	沖縄県宮古事務所	視覚・肢体・高齢者
H30	渡嘉敷村立渡嘉敷小中学校3～6年生	フェリーとかしき	視覚・肢体・高齢者
R1	那覇バスターミナルに乗り入れるバス事業者の運転者・職員及び障がい者等	那覇バスターミナル	視覚・肢体・高齢者・移動検証
R2	一般旅客定期航路事業者の職員等	フェリー海邦	視覚・肢体・高齢者
R3	R3のバリアフリー教室は緊急事態宣言等の影響によりR4に延期		
R4	沖縄市役所職員、来庁者、障がい当事者	沖縄市役所	視覚・肢体・高齢者

## 【過去のバリアフリー教室開催一覧】

# バリアフリー教室の開催（令和5年度）

- ・ マスタープラン策定を後押しするため、昨年度沖縄総合事務局バリアフリー化推薦功労者表彰を受けた、新石垣空港国際線旅客施設を活用したバリアフリー教室を開催を予定。
- ・ インクルーシブ教育を推進するため、石垣空港ターミナル株式会社職員だけでなく、施設内で働く人々、当事者の方にも参加頂く。

## 《令和5年度バリアフリー教室 概要》

**参加者** 石垣空港ターミナル株式会社職員・空港施設内職員・当事者等を予定

### 1. 座学

講師：バリアフリープロモーター親川氏（予定）

### 2. 実体験

車いす、アイマスク、高齢者疑似体験

**内容**

※新型コロナウイルス感染症対策として以下を実施予定

- ・ 受付時の体温測定及び健康状態申告書提出
- ・ 手指消毒のうえ、マスク着用での受講
- ・ 都度、設備や装着器具等のアルコール消毒

## 《沖縄総合事務局バリアフリー化推薦功労者表彰 概要》

- 沖縄総合事務局において、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体の優れた取組を広く普及させ奨励することを目的として「局長表彰制度」を制定、県内の優れた取組を表彰。

### 《概要》

推薦者	沖縄県土木建築部
被推薦者	石垣空港ターミナル 株式会社
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新バリアフリータイプのボーディングブリッジを新設し、航空機までのフラットな動線を確保</li> <li>・ すべてのトイレと授乳室に、光警報装置（光の点滅によって火災警報を発信する装置）を設置。またトイレの色彩計画をロービジョン者に配慮</li> <li>・ 多言語で案内される無料公衆無線LANや運航情報表示システム、デジタルサイネージなど導入</li> </ul>



以前の状況  
（ステップ車による乗降）



新国際ターミナル  
（ボーディングブリッジによる乗降）



トンネル間を接続するスロープは勾配がきつく、また、スロープ端部には1~2cm程度の段差あり



トンネル間を接続するスロープの勾配は1/30と極めて緩やかで、スロープ端部の段差もほとんどない

【航空機乗降動線のバリアフリー化】



【色彩計画におけるロービジョン者への配慮】



【密室空間となるトイレ（便所）と授乳室に光警報装置を設置】

## 《参考：令和4年度 沖縄市役所でのバリアフリー教室の様子》

参加者：市役所職員・来庁者・障害者

バリアフリー法の一部改正により、公共交通事業者等によるハード・ソフト一体的な取組の推進等が新たに規定されたことを踏まえて、市内循環バスを運行する市役所職員や来庁者等を対象とした教室を開催。



・地域の課題等に応じた取組として、内閣府沖縄総合事務局が一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会と共催で、タクシードライバー等を対象としたユニバーサルドライバー研修を開催。

当事者であるNPO法人沖縄県脊髄損傷者協会や沖縄トヨペット株式会社の協力のもと、ジャパンタクシーの乗降演習及びグループディスカッションを実施。

・参加者からのアンケートでは、「体験して初めて障がい者の気持ちに気づくことができた。」、「高齢者や障がい者に対する手伝いの在り方を考えさせられる良い機会になった。」、「普段何気なく見過ごしてきた「困った」に気づききっかけとなった。」との意見があった。

<日時> 令和5年1月19日(木)9:00~17:00

<場所> (一社)沖縄県ハイヤー・タクシー協会敷地内

<対象者>タクシードライバー・運行管理者 (38名) ※昨年度より3名の増加

## <概要>

### 1. 課題紹介 9:10~9:30

UDタクシーに対する課題紹介 沖縄総合事務局運輸部監査指導課

### 2. 講義 9:30~12:00

- ・タクシーとバリアフリーそしてユニバーサル社会
- ・お客様の接客にあたって
- ・お客様の理解と接遇・介助の留意点

### 3. 実技 13:00~15:00 (車いすの取り扱い方と乗車、降車)

講師: 沖縄県脊髄損傷者協会 仲根 建作  
 沖縄トヨペット(株) 金城 広文、與儀 豊

### 4. グループディスカッション 15:30~16:50



【研修会の様子】

無線局	電話番号	台数	会社名	所在地
無線局一覧 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">UD</span> ...UDタクシー保有 <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">JB</span> ...ジャパンタクシー又はジャンボハイヤー保有				
南部支部				
南部支部 (企業グループ無線)				
沖東交通無線局 <span style="border: 1px solid orange; padding: 2px;">UD</span> <span style="border: 1px solid blue; padding: 2px;">JB</span>	098-946-5005 0120-21-5005	439	琉球交通 沖東交通 東洋交通 大栄交通 アサヒタクシー グランド交通 光陽タクシー	那覇市 浦添市 宜野湾市 豊見城市 南風原町 北谷町 恩納村 西原町 沖縄市
三和交通無線局	098-889-3037	259	三和交通	那覇市

(参考) タクシー協会独自の取り組みとして、HP上にてUD車両を保有している会社を公表している。

- 運輸部企画室と開発建設部建設行政課、有識者からなるバリアフリープロモーターを県内市町村に派遣し、バリアフリー法の説明や、基本構想・マスタープラン作成の流れ、メリット等を説明し、基本構想・マスタープラン作成を促進している。

年度	自治体
H22	那覇市
H23	石垣市、宮古島市、与那原町
H24	沖縄市、豊見城市
H25	宜野湾市、浦添市
H26	那覇市、糸満市、南城市
H27	那覇市、石垣市、本部町
H28	那覇市、豊見城市、宮古島市(市主催の意見交換に参画)
H29	南城市、石垣市、那覇市(市主催の意見交換にオブザーバー参加)
H30	浦添市
R1	那覇市 (バリアフリー基本構想セミナーを那覇市と共催)
R2	全市町村対象(本省主催の説明会)、浦添市
R3	沖縄市、浦添市、宮古島市、八重瀬町、糸満市、うるま市、名護市、石垣市、竹富町
R4	那覇市、浦添市、豊見城市、宜野湾市、南城市、宜野座村、名護市、うるま市、沖縄市、読谷村、北谷町、石垣市、竹富町



## 沖縄管内プロモーター

- ・NPO法人エンパワメント沖縄  
NPO法人沖縄県障がい者スポーツ協会  
理事長 高嶺 豊
- ・NPO法人バリアフリーネットワーク会議  
代表者 親川 修
- ・NPO法人沖縄県脊髄損傷者協会  
代表者 仲根 建作
- ・公益社団法人沖縄手をつなぐ育成会  
理事長 田中 寛

状況に応じてプロモーターを派遣

- ・ 目標達成に向けて、今年度は地方自治体へのプロモート活動件数を13件行った（例年2～3件程度）。
- ・ 41市町村中、11市しかなく、離島が多く、旅客施設のある市町村が少ない中、地方自治体の方向性を示せるマスタープラン策定を広く働きかけた。

- ・ 那覇市（R4.4.26） ※R2基本構想策定済み。
- ・ 浦添市（R4.5.23） ※旅客施設あり。バリフリプロモーターとプロモート。
- ・ 豊見城市（R4.6.1） ※R4地域公共交通計画策定。
- ・ 宜野湾市（R4.6.6） ※運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ 南城市（R4.7.4） ※運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ 宜野座村（R4.8.1） ※初プロモート。運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ 名護市（R4.8.1） ※運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ うるま市（R4.9.26） ※バリフリプロモーターとプロモート。
- ・ 沖縄市（R4.9.26） ※マスタープラン策定の意向あり。
- ・ 読谷村（R4.10.6） ※初プロモート。運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ 北谷町（R4.10.6） ※R4地域公共交通計画策定。運輸部・開発建設部合同でプロモート。
- ・ 石垣市（R4.10.25） ※旅客施設あり。
- ・ 竹富町（R4.10.25） ※旅客施設あり。



- ・ 目標達成に向けて、今年度の地方自治体へのプロモート活動件数を7件とする。
- ・ 41市町村中、11市しかなく、離島が多く、旅客施設のある市町村が少ない中、地方自治体の方向性を示せるマスタープランを、目標に関係なくより強く、広く働きかける。

## ・那覇市

→ 基本構想策定済み。併せてマスタープラン策定を促すため。3,000人以上旅客施設有り

## ・浦添市

→ 新たな整備目標2,000人/日以上に該当する旅客施設を有するため(てだこ浦西駅)。

## ・宮古島市

→ 前回(H25)のプロモートから時間が経っているため。

## ・糸満市

→ 前回(H28)のプロモートから時間が経っているため。

## ・八重瀬町

→ 前回(H29)のプロモートから時間が経っているため。

## ・沖縄市

→ マスタープラン策定意向あり。

## ・うるま市

→ 昨年度のプロモートで感触が良く、再度プロモートを行う。

## ・石垣市

→ 今年度バリアフリー教室を予定しているため、プロモートを行う

※ その他様々な会議の場を活用しながら、バリアフリーについて各市町村に幅広くプロモートしていく

・ 沖縄総合事務局において、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体の優れた取組を広く普及させ奨励することを目的として「局長表彰制度」を制定、県内の優れた取組を表彰。

## 概要

推薦者	沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合
被推薦者	ウェルネスリゾート沖縄休暇センターユインチホテル南城 (株式会社 タピック)
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バリアフリー化を推進するために「沖縄県肢体不自由児者親子の会連合」の会員・ご家族によるモニターツアーを実施(ユニバーサルルームやマリンアクティビティ体験、意見交換会等)</li> <li>・ YouTuber車いすトラベラーによるモニターツアーを実施し、当事者目線によるレポート及びYouTubeによる紹介配信</li> <li>・ 社内勉強会(接遇研修)として、疑似体験や意見交換等のバリアフリー研修会を実施</li> <li>・ 今後インターナショナルリゾートカレッジと連携し、現場実習作業としてユニバーサル授業を実施予定</li> </ul>

**ユインチホテル南城、バリアフリー化の推進に向けモニターツアー (2020/10/28)**

最終更新日: 2020年11月09日

ユインチホテル南城と知念海洋レジャーセンターを運営するタピックグループが、バリアフリー化を推進するため、モニターツアーを実施しました。障害者や高齢者に対して、より質の高いサービス提供を目指すための、「沖縄県肢体不自由児者親子の会連合」の会員ご家族が参加しました。

一泊明けからの朝食後、同ホテルスタッフとのモニター参加者との意見交換が行われました。



ホテルスタッフとモニター参加者の意見交換  
真剣にモニター体験者の意見をメモするスタッフ

同ホテルのユニバーサルルームを体験した重度障害を持つご家族は「予約したあと、振り返しの電話をいただき、こちらから説明しなくても丁寧な聞き取りがあった」とホスピタリティあふれる対応に高評価。一方で「ベッドが少し低く、中腰で介助することが多かった。リクライニング機能のついたベッドや、おむつなどのゴミが出るので大層で蓋つきのゴミ箱があるといい」などの注文も。ホテルスタッフは熱心に参加者の声に耳を傾け、メモを取っていました。



今後バリアフリーの整備を進めるための実証  
腰を楽めることが困難なため腰を使って背中を寝かす

その後、知念海洋レジャーセンターへ移動し、グラスボートを体験しました。これから始めるバリアフリー整備のため、実際に体験していただき、課題点を検証します。

船底のガラスを通して海中を見るグラスボート。重度障害をお持ちの方は腰を屈めることが困難なため、腰をつけた網眼にトライしました。網の位置をさまざまに変え、一見しやすい位置を発見したとき、参加者に笑顔が咲きました。

同ホテルの砂川卓朗副支配人は「乗換、当事者の方々と対話してわかることが多い。事業者としては「バリアフリー化はお金がかかるのでは」と広込みをしがちだが、少しの工夫やスタッフの意識の持ち直しでも解決できることがある。今後は優先順位をつけて課題を解決していきたい」と、ウェルネスツーリズムの発展に向けた意欲を語りました。

【バリアフリー化の推進に向けモニターツアー】



【YouTuberによるホテルの紹介配信】

・ 沖縄総合事務局において、国土交通分野におけるバリアフリー化の推進に多大な貢献が認められた個人又は団体の優れた取組を広く普及させ奨励することを目的として「局長表彰制度」を制定、県内の優れた取組を表彰。

《概要》

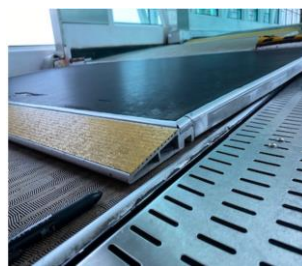
推薦者	沖縄県土木建築部
被推薦者	石垣空港ターミナル 株式会社
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新バリアフリータイプのボーディングブリッジを新設し、航空機までのフラットな動線を確保</li> <li>・ すべてのトイレと授乳室に、光警報装置（光の点滅によって火災警報を発信する装置）を設置。またトイレの色彩計画をロービジョン者に配慮</li> <li>・ 多言語で案内される無料公衆無線LANや運航情報表示システム、デジタルサイネージなど導入</li> </ul>



以前の状況  
(ステップ車による乗降)



新国際ターミナル  
(ボーディングブリッジによる乗降)



トンネル間を接続するスロープは勾配がきつく、また、スロープ端部には1~2cm程度の段差あり



トンネル間を接続するスロープの勾配は1/30と極めて緩やかで、スロープ端部の段差もほとんどない

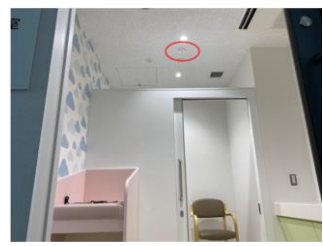
【航空機乗降動線のバリアフリー化】



【色彩計画におけるロービジョン者への配慮】



【密室空間となるトイレ便房と授乳室に光警報装置を設置】



地域のニーズや課題に応じて、河川や道路、港湾・空港、国営公園、官庁施設などの社会資本の整備、維持管理を行っています。

以下の分野で事業を実施します。

河川



道路



港湾



公園



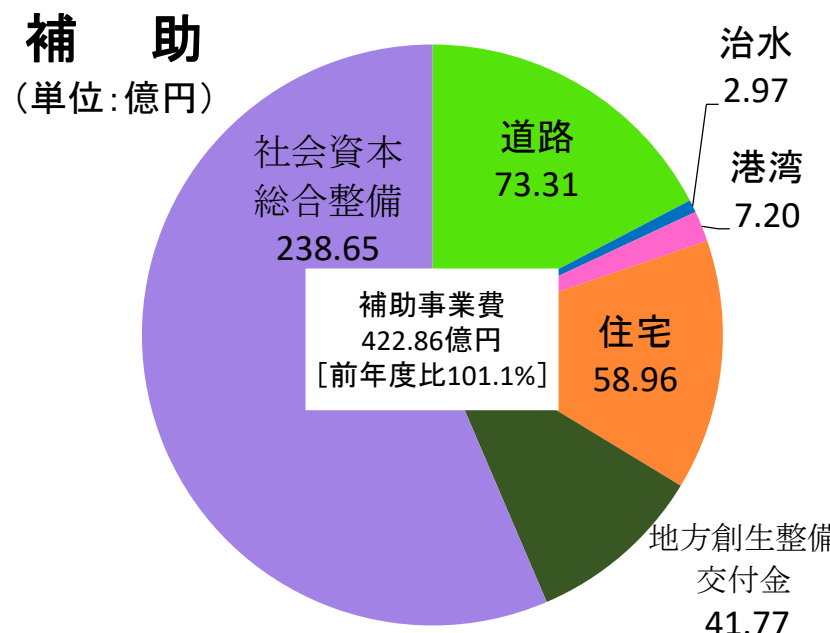
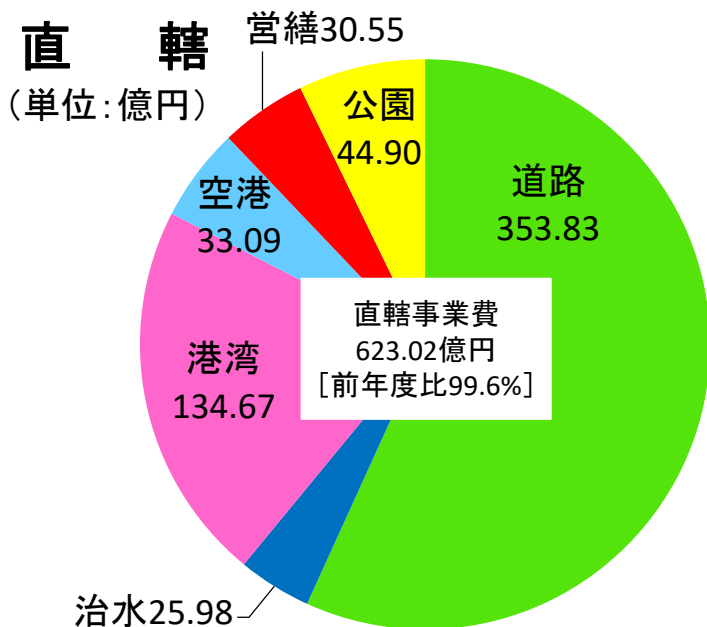
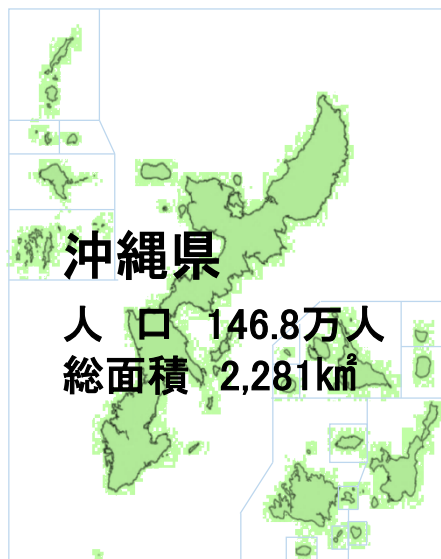
営繕



空港



令和5年度予算 当初予算：1045.88億円 [前年度比100.2%]



## 国道58号宜野湾市伊佐バス停付近 [平成25年南部国道道路維持・修繕工事 H26.3完成]

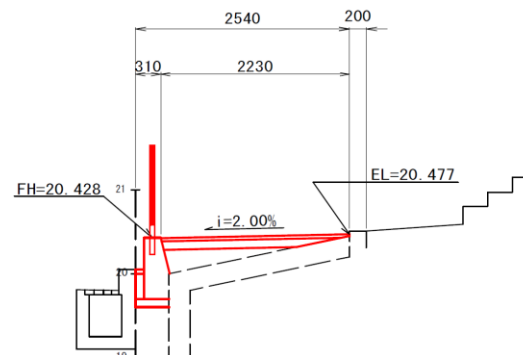
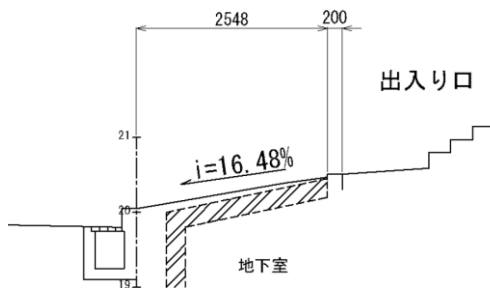
- 当該箇所は歩道端部と民地との高低差が大きく、歩道の横断勾配が最大で17%近くなり、高齢者や車いす利用者などが、通行する際に障害となっていた。
- 歩道端に小型擁壁を計画、民地との高低差を解消し、歩道の横断勾配を2%にする事により、車いす等の利用者が安心して通行できるようにした。



整備前



整備後



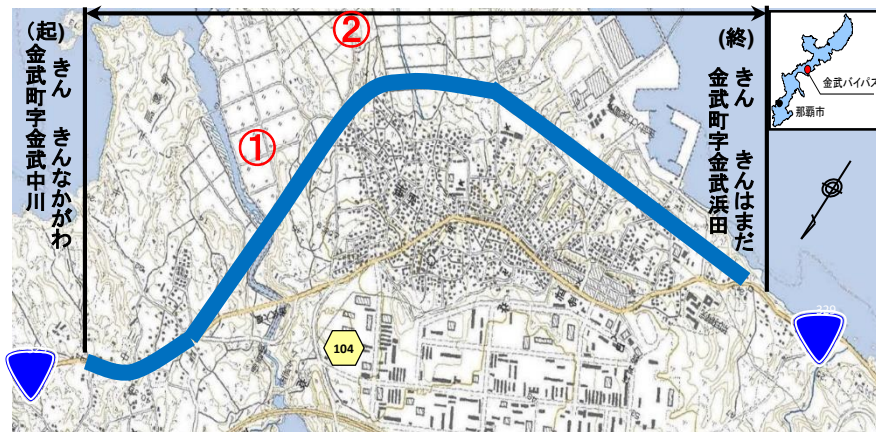
# 道路のバリアフリー取り組み事例

## 一般国道329号金武バイパス

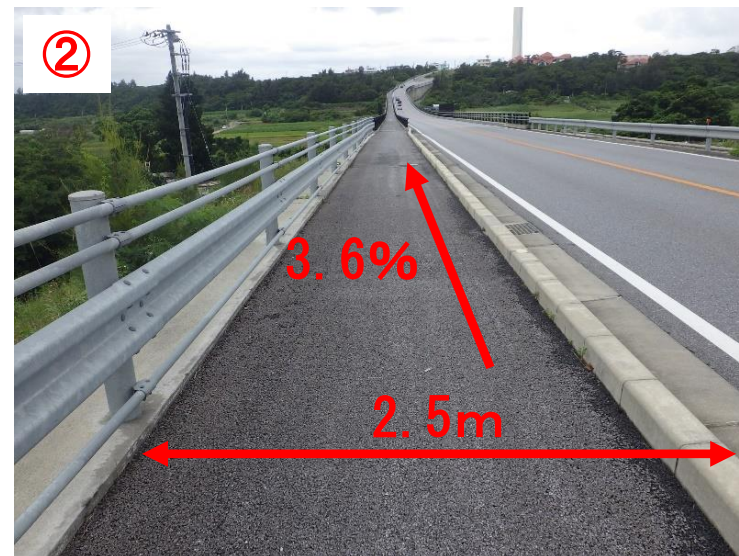
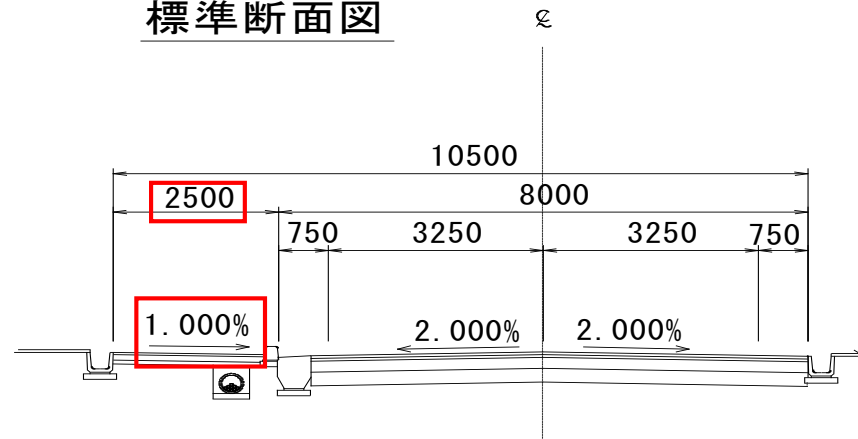
金武バイパスは、金武市街地の交通安全の確保と交通渋滞の緩和、幹線道路としての機能向上を目的とする道路であり平成31年3月30日に全線2車線開通を行っているが、バリアフリー化に対応した歩道幅員、勾配を確保した。

### 【位置図】

金武バイパス 延長5.6km(2車線)



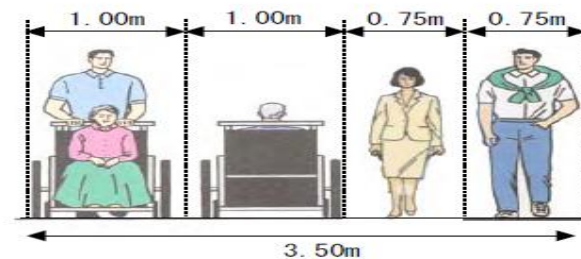
### 標準断面図



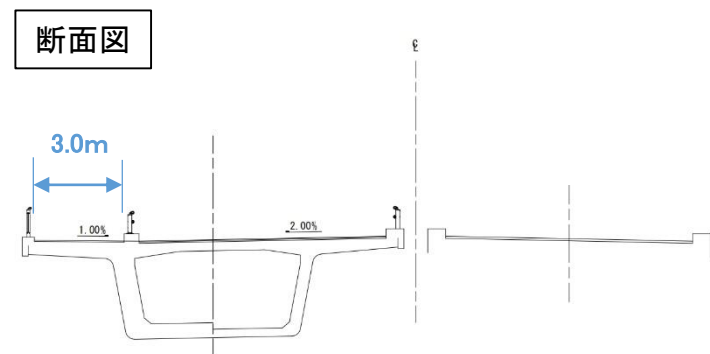
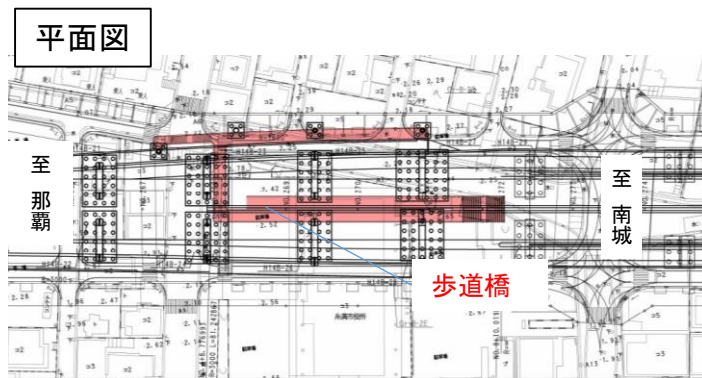
# 道路のバリアフリー取り組み事例

## (国道331号糸満道路)

糸満道路は沖縄西海岸道路の一部を構成する道路として、国道331号の交通渋滞緩和、那覇港・那覇空港へのアクセス向上による物流支援、更には南部地域に点在する観光施設へのアクセス向上による周遊観光を支援し、南部地域の発展に寄与する道路であり、平成29年3月4日に全線4車線開通を行っているが、バリアフリー化に対応した歩道幅員、勾配、視覚障害者誘導ブロックを設置した。

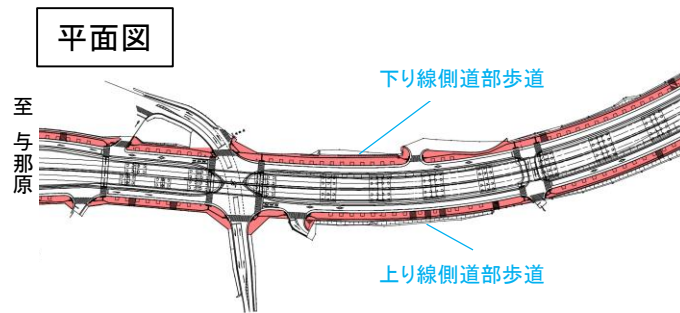
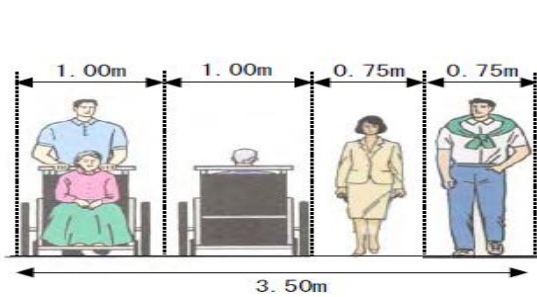


・安全かつ円滑な交通を確保するため、歩道幅員を3.5mとし、視覚障害者誘導用ブロックを適切に配置。



・車いす使用者等の通行に配慮し、歩道斜路の縦断勾配を5%以下とした。また、視覚障害者誘導用ブロックを適切に配置。

一般国道329号の南風原町から那覇市間の交通混雑の緩和を図るとともに、那覇空港自動車道、那覇東バイパス、与那原バイパス、都計道真地・久茂地線と一体となった幹線道路網の形成を目的とする道路であり、平成31年3月21日に側道部の開通を行っているが、バリアフリー化に対応した歩道幅員、視覚障害者誘導ブロックを設置した。



断面図

下り線歩道

上り線歩道

4.0m

4.0m

・安全かつ円滑な交通を確保するため、歩道幅員を4.0mとし、視覚障害者誘導用ブロックを適切に配置。

○海洋博公園では園内施設等を網羅したバリアフリーマップを作成し、全てのお客様が快適にお過ごしいただけるよう努めている。

### 海洋博公園バリアフリーマップ

**エレベーター**  
**エスカレーター**  
**電気遊覧車停留所**  
**案内所**  
**救護室**  
**授乳室**  
**トイレ**  
**身障者用トイレ**  
**オストメイト対応**  
**車イス貸出**  
**身障者駐車場**  
**バリアフリー通路(スロープ)**  
**ベビーカー貸出**  
**おすすめバリアフリールート**  
**バリアフリールート**

**歩行困難な方や車いすの方**  
園内各所への移動にお困りの際は、パトロールカーによる送迎が可能です。  
(ご利用可能時間9:00~17:00)  
海洋博公園管理センター(☎0980-48-2741)へご連絡ください。  
(お時間を頂く場合がございます。予めご了承ください。)

**優先駐車場の確保**  
**補助犬マーク**  
**スロープの設置と各施設への送迎**  
**ベビーカーと車椅子(電動あり)の貸出**

**電気遊覧車**  
園内を電気遊覧車が運行しています。  
料金:1回乗車券¥300 1日周遊券¥500  
運行状況等の最新情報は右記QRコードより海洋博公園公式ホームページをご確認ください。  
身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示で遊覧車を無料でご利用できます。介護者は1名様まで無料です。



優先駐車場の確保



補助犬マーク



スロープの設置と各施設への送迎



ベビーカーと車椅子(電動あり)の貸出



海洋文化館へ向かうEVの設置



多目的トイレ(写真はオストメイト対応)の設置



授乳室の設置

## 沖縄税関支署



所在地：沖縄県沖縄市胡屋2丁目40-23  
構造・規模：鉄筋コンクリート造3階建  
建築面積：216㎡  
延床面積：598㎡

### 車椅子使用者用駐車スペース

屋内に車椅子使用者用駐車スペースを設け、庁舎出入口と隣接させることにより、雨天時にも車椅子使用者等が安全に庁舎へ出入りできるよう設計している。



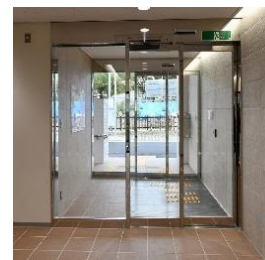
### 玄関



玄関



スロープ



エントランスホール



エレベーター乗り場

玄関には視覚障害者誘導用ブロックを敷設し、インターホンまで誘導している。また、スロープを設け、車椅子使用者等が円滑に庁舎へアクセスできるようにしている。(本施設の都合上、来庁者は風除室に設置されたインターホンで事務室へ連絡し、職員が確認後、自動ドアより入館する。館内は状況に応じて職員が誘導する。)

エントランスホールのエレベーター乗り場ボタンの手前には点状ブロックを敷設し、視覚障害者がボタンの位置を認知しやすいようにしている。

### 多目的トイレ等



多目的トイレ



大便器用手すり

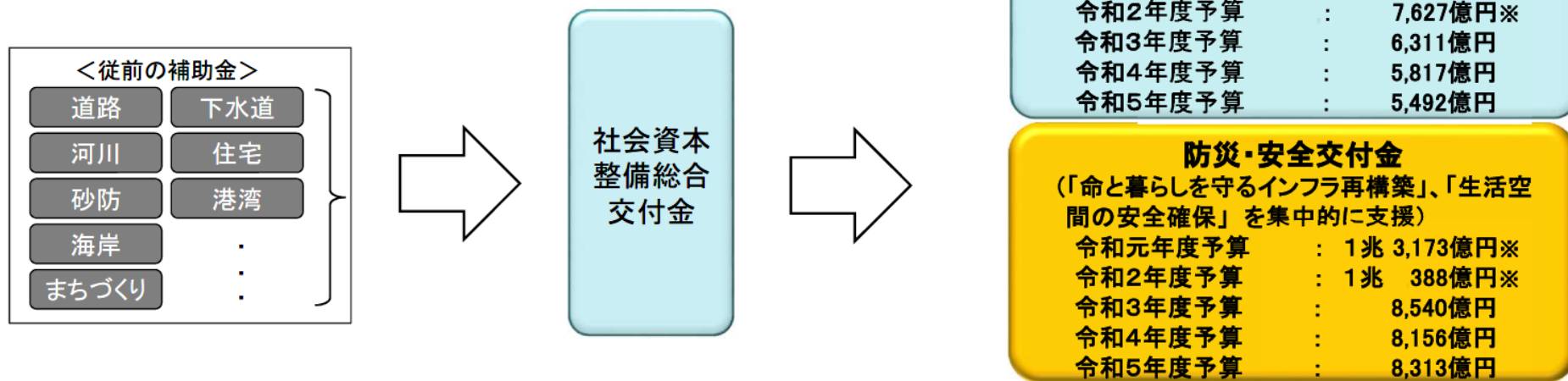


小便器用手すり

多目的トイレは、車椅子使用者等が円滑に使用できる広さを備えるとともに、乳幼児椅子やオストメイト設備、大人も使用可能な折りたたみベットを設置し、多様な利用者に対応できる設計となっている。

また、小便器には杖使用者等が立位を保つことができるように、大便器には立ち座りの動作を容易にするために、それぞれ手すりを設けている。

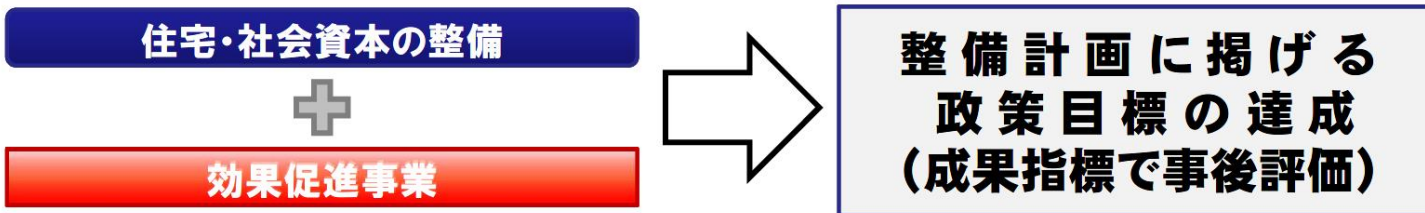
- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。



※ 令和元年度及び令和2年度予算は臨時・特別の措置を含んでおり、金額は以下の通り。  
 ・令和元年度予算 社会資本整備総合交付金:350億円、防災・安全交付金:2,767億円  
 ・令和2年度予算 社会資本整備総合交付金:349億円、防災・安全交付金:2,541億円

## 両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の17事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。



## 住宅・社会資本の整備

### 基幹事業

- 道路
- 港湾
- 河川
- 砂防
- 下水道
- 海岸
- 都市公園
- 市街地
- 住宅
- 住環境整備
- 地域公共交通再構築
- 等

#### (社会資本整備総合交付金の例)

- ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成  
例) 都市公園の整備
- 例) 港湾施設の整備



#### ・民間投資を誘発する取組

- 例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入



#### (防災・安全交付金の例)

- ・インフラ老朽化対策  
例) 公園施設の改修



- ・生活空間の安全確保  
例) 自転車通行空間の整備



堤防決壊



- ・事前防災・減災対策  
例) 流域治水対策  
(風水害・土砂災害への対策)

## 効果促進事業

- 計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務
- 全体事業費の2割目途

#### (社会資本整備総合交付金の例)

- ・アーケードモールの設置・撤去
- ・観光案内情報板の整備
- ・社会実験(レンタサイクル、道路の歩行者優先化等)
- ・計画検討・策定(景観計画、住生活基本計画等)

例) 観光案内情報板の整備



#### (防災・安全交付金の例)

- ・ハザードマップの作成・活用
- ・防災教育、防災訓練の実施
- ・災害時のための資機材整備(マンホールトイレ、可搬式ポンプ等)
- ・遊具の修繕

例) ハザードマップの作成・活用



例) 防災訓練の実施




※このほか、社会資本整備円滑化地籍整備事業(社会資本整備と地籍調査の連携を図り、社会資本のストック効果の最大化等を図る観点から行う地籍整備事業)等がある。


# バリアフリー化の支援制度① (社会資本総合整備事業)

## 事業名： 都市・地域交通戦略推進事業


支援策の概要		都市・地域における安全で円滑な交通を確保し、魅力ある都市・地域の将来像を実現するため、徒歩、自転車、自動車、公共交通の適正分担が図られた交通体系を確立し、もって公共の福祉に寄与することを目的として、 <u>自由通路、駐車場、バリアフリー交通施設等</u> の公共的空間等の整備に対して支援を行う。
支援策の内容	対象者	地方公共団体、協議会、都市再生推進法人 等
	対象事業	1) 整備計画の作成に関する事業 2) 公共的空間等の整備に関する事業(公共的空間の整備、駐車場の整備、 <u>バリアフリー交通施設の整備</u> 等) 3) 公共的空間又は公共空間の整備に併せて実施される事業(都市情報提供システムの整備 等)
	対象地域	都市・地域総合交通戦略を策定している又は策定することが確実と見込まれる区域、 <u>バリアフリー法に規定する基本構想において定められている又は定められることが確実と見込まれる区域</u> 等
	交付率	1/3、1/2 (立地適正化計画に位置付けられた事業等)
	その他	-
本省担当部局		国土交通省 都市局 街路交通施設課 TEL 03-5253-8111(内線32-835) FAX 03-5253-1592



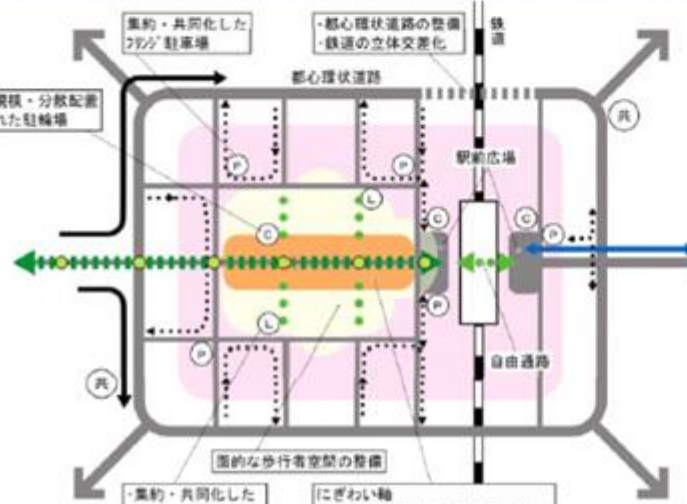
自転車駐車場



公共交通の施設(車両除く)




荷置き駐車場




集約・共同化したP/M駐車場  
小規模・分散配置された駐車場  
都心環状道路  
駅前広場  
自由通路  
面的な歩行者空間の整備  
集約・共同化したP/M/荷置き駐車場  
にぎわい軸(歩行者空間化・P/M/バス空間化)


### 事業のイメージ・整備事例




都市情報提供システム



自由通路




ペDESTリアンデッキ  
交通広場



駐車場

<p>〈公共交通〉</p> <p>鉄道線</p> <p>公共交通線</p> <p>にぎわい軸</p> <p>路線バス</p>	<p>〈交通結節点〉</p> <p>鉄道駅</p> <p>公共交通停留所</p>	<p>〈駐車・駐輪・荷置き施設〉</p> <p>駐車場</p> <p>駐輪場</p> <p>荷置き駐車場・スペース</p> <p>共同集配施設</p>	<p>〈歩道〉</p> <p>通過歩道</p> <p>自家用車、貨物車(一方通行)</p> <p>歩行者専用道</p>	<p>〈土地利用〉</p> <p>中心市街地の集約拠点</p> <p>面的な歩行者空間</p>
--	--	---	---	---



バリアフリー交通施設

## 事業名: バリアフリー環境整備促進事業

### 支援策の概要

バリアフリー法に基づく基本構想等の策定及び基本構想等に従って行われる移動システム等(動く通路、スロープ、エレベーター等)の整備並びに認定特定建築物等への移動システム等の整備に対し、助成を行う。

### 支援策の内容

#### 対象者

地方公共団体、民間事業者、協議会

#### 対象事業

- 1) 移動システム等整備事業
  - ・基本構想等の策定
  - ・屋外の移動システム整備(スロープ、エレベーター等)
  - ・建築物の新築、改修に伴う一定の屋内の移動システム整備(市街地空間における移動ネットワークを形成するものに限る。)
  - ・移動システムと一体的に整備されるパブリックスペース(広場、空地、アトリウム、ホール、ラウンジ、トイレ等)等
- 2) 認定特定建築物等整備事業
  - ・屋外の移動システム整備(建築物敷地内の平面経路に限る。)
  - ・屋内の一定の移動システム整備(商業用以外の特別特定建築物の用途に至る経路に係るもの。)
  - ・移動システムと一体的に整備されるパブリックスペース等
- 3) 既存建築物バリアフリー改修事業
  - ・高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準に適合させるためのバリアフリー改修工事
  - ・段差の解消(エレベーター設置)
  - ・出入口の幅の確保・通路の幅の確保
  - ・車椅子使用者用トイレの設置等

#### 対象地域

- ・三大都市圏の既成市街地等
- ・人口5万人以上の市
- ・一定の要件を満たす都市機能誘導区域等

#### 交付率

- ・地方公共団体又は協議会等が施行者の場合  
国:1/3、地方:2/3
- ・民間事業者が施行者の場合  
国:1/3、地方:1/3、民間:1/3

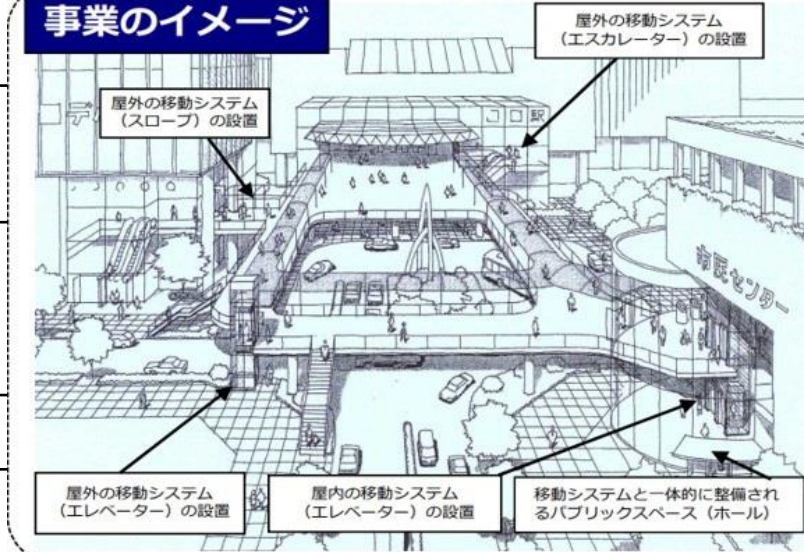
#### その他

—

#### 本省担当部局

国土交通省 住宅局 市街地整備課  
TEL 03-5253-8111(内39-654) FAX 03-5253-1631

### 事業のイメージ



## ■社会資本整備総合整備計画の制度全般

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課

## ■バリアフリー支援事業に関する事前の相談等

(都市・地域交通戦略推進事業、バリアフリー環境整備促進事業)

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 建設産業・地方整備課

## ■電話番号

内閣府 沖縄総合事務局 098-866-0031(代)